


いきがい  
クリエーション

# 人が集まる福祉事業所



株式会社いきがいクリエーション  
代表取締役 田村浩介

沖縄県人材育成認証企業



- 看取り、ご家族に感謝
- コロナ後にショートステイと自宅へ
- 国家試験だめでも一緒に働こう
- ご家族のこともサポート
- 娘さんがバイト
- 家族を勧誘
- コロナでチーム力アップ
- LINEでご家族と連携、情報共有



## 自己紹介 田村浩介

1978年東京都出身。母親の病死を経験し、人の役に立ちたいと作業療法士の道へ。2001年に沖縄に移住。琉球リハビリテーション学院教員などを経て、2011年(株)いきがいクリエーションを企業。  
 (一社)沖縄県作業療法士会副会長、(一社)沖縄県リハビリテーション専門職協会理事を歴任。  
 夢はいきがいのまちづくり、医療、福祉の立場で考えている。

- ✓ 株式会社 いきがいクリエーション 代表(平成23年5月～)
- ✓ 特定非営利活動法人 いきがいLABO 共同代表(令和3年10月～)
- ✓ 安慶田まちづくり推進協議会 副理事長
- ✓ 沖縄市まちづくり推進協議会メンバー
- ✓ 沖縄市民生委員児童委員 総務部 部長

- ✓ 認定作業療法士
- ✓ 介護支援専門員
- ✓ 生活行為向上マネジメント指導者(日本作業療法士協会)
- ✓ 職場のSDGs推進コンサルタント

## 理念

# いきがいを一緒につくる

私たちは、すべての人たちの「いきがい」を育てます。  
いきがいは人それぞれ。だからこそ、ひとりひとりと寄り添い、一緒に考えます。

### \* 利用者みなさまと

とことん話すことで、目標を一緒に考え、前向きにチャレンジします。

### \* 地域みなさまと

積極的に交流し、地域自体の活性化を促す橋渡し役を勤めます。

### \* スタッフと一緒に

働きがいのある職場をつくり、いきいきとしたスタッフを育てます。



いきがいあふれる人生を送っている人は輝いています。  
利用者の皆様、地域の皆様、そしてスタッフがお互いに照らし合うことで  
誰もがやりたいことをできる「いきがいのまち」がつけられます。



## 株式会社 いきがいクリエーション

**設立日** 平成23年5月24日

### 本社

〒904-2163 沖縄県沖縄市大里二丁目7番10号  
Tel:098-989-3645 Fax:098-989-3277

### 取締役

代表取締役社長 田村浩介  
取締役副社長 親泊朝光  
取締役 田村寿乃  
会計参与 富田将孝

**従業員数** 110人(R4.4.1現在)

### 事業所

・〒904-2163 沖縄市大里2-7-10  
・〒904-0032 沖縄市諸見里2-10-10  
・〒904-2155 沖縄市美原2-8-7  
・〒904-2153 沖縄市美里6-15-16  
・〒904-2225 うるま市喜屋武626-5 626-8

### 主な事業内容

介護保険に基づく通所介護および介護予防通所介護事業  
小規模多機能型居宅介護事業  
居宅介護支援事業  
訪問看護 訪問介護事業  
サービス付き高齢者向け住宅 有料老人ホームの運営  
障がい者総合支援法に基づく児童デイサービス

### 認証

沖縄県人材育成認証企業(平成26年後期～)

## 沿革

平成23年10月 いきがいのまちデイサービス(通所介護)開設

平成24年 6月 いきがいのまちデイサービス金武(通所介護)開設

平成26年 沖縄県人材育成企業認証(H.26年度後期)

平成27年 4月 小規模多機能ホームいきがいのまち開設

平成27年10月 サービス付き高齢者住宅いきがいのまち美里開設  
いきがいのまちデイサービス美里開設  
ケアプランセンターあい(居宅介護支援)開設

平成28年10月 ヘルパーステーションあい(訪問介護)開設

平成29年 2月 こども支援ひまわり教室(児童デイ)開設

平成30年 6月 ケアプランセンターあいをケアプランいきがいに名称変更

平成30年6月 ヘルパーステーションあいを  
いきがいサポートステーションに名称変更

令和元年7月 いきがいサポートステーション(訪問看護)開設

令和2年11月 いきがいサポートステーション(訪問介護)を  
いきがいヘルパーステーションへ名称変更

令和3年4月 有料老人ホームいきがいのまちうるま開設予定  
小規模多機能ホームいきがいのまちうるま開設



## 令和4年度 いきがいクリエーションの方針

みなさまへ

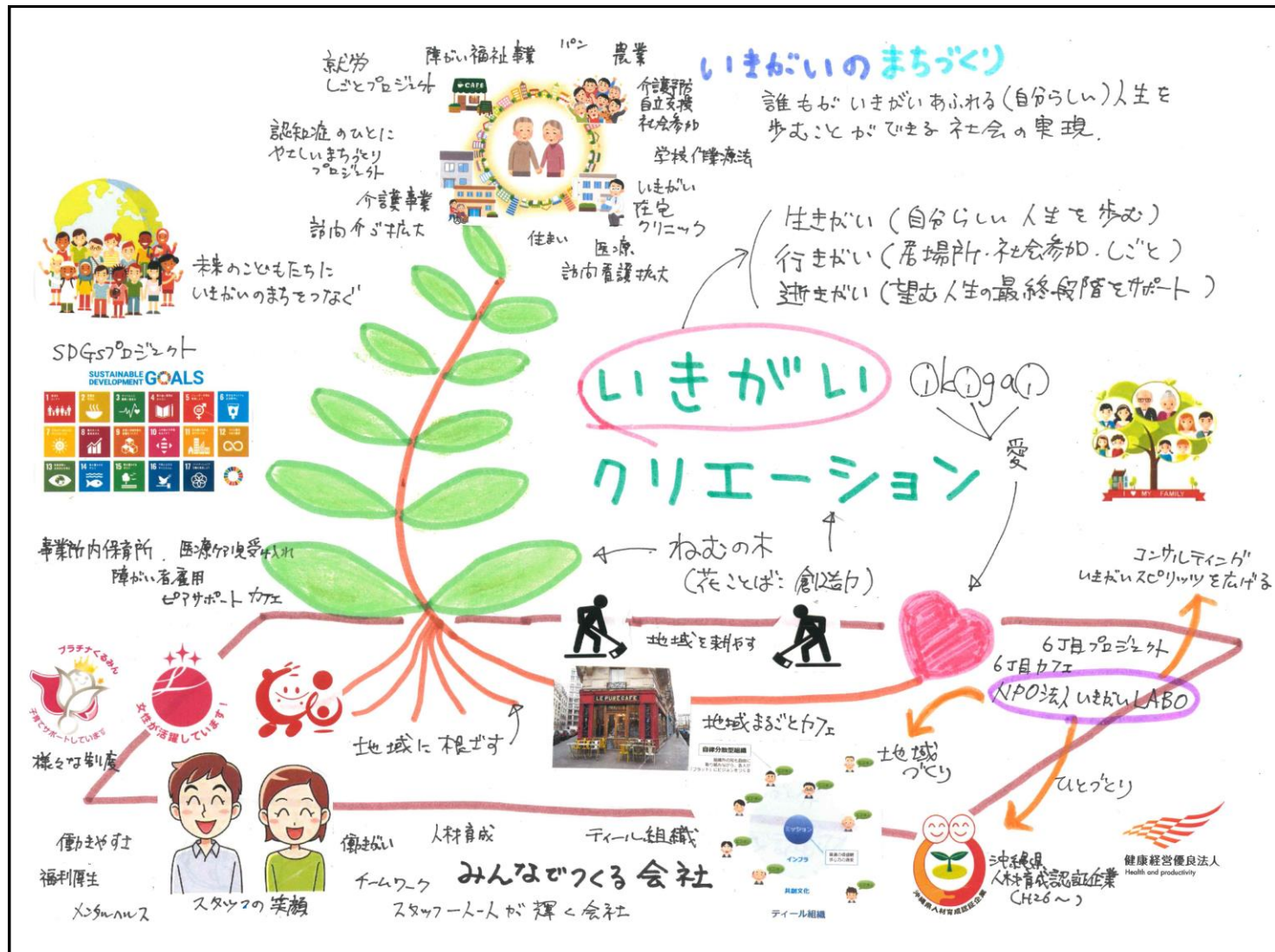
日々、いきがいクリエーションでお仕事くださり、本当にありがとうございます。

いきがいクリエーションは、スタッフのみなさまで成り立っています。

みなさまのおかげで、創立10年を迎え、ますます発展してまいりました。ここに感謝申し上げます。

各事業所においては、それぞれの「らしさ」を大切にチームが一つとなって、ご利用者・ご家族、地域のみなさまのいきがいづくりのお手伝いをさせていただいています。

これからも各事業所の継続と発展のために、お仕事いただくスタッフのみなさまの働きやすさと働きがいを実感いただける会社であり続けたいと考えています。対話を重ね、みなさまにとって、これまで以上に誇りに思える会社にしていきたいと考えています。



## いきがいクリエイションのいいところ

- 何でも言い合えるところ
- ギャグセンスのあるユーモアたっぷりの先輩方が多くて楽しい
- みんなでアイデアを出し合い色々挑戦している
- 以前に比べると雰囲気良く笑顔がある
- スタッフ不足でも支え合って頑張っている
- スタッフを大事にしている(スタッフの意見に耳を傾ける、個々を尊重している)
- 常勤、非常勤や職種の垣根がなく平等
- お休みがとりやすい
- 事業所間の協力体制がある
- 地域との連携に取り組んでいる
- SDGsに取り組んでいる
- 働きがい、働きやすさの改善に努めている
- 時間や休みの調整を気軽に相談できるところ
- それぞれ得意分野が違うので分からない事があっても相談できる仲間がいること
- 一人一人を尊重しチーム一丸となってサポート支え合えるところ
- 話し合うことを前提に問題点などを起案するところ

## もっとこうなったらいいなあ

- 経験者介護スタッフを増やしてほしい
- 送迎用スタッフのジャンパー揃えたらいいかも
- 社長からのスタッフへの声かけが欲しい
- 誕生日休暇が欲しい
- デイや小規模、訪問看護、児童デイなどたくさん事業所があるからスタッフ間での交流がもっとあればいいな—と思います
- 利用者さんに対応(接し方)する際の注意点や話し合いを半年に一度程にあるといいと思う
- 知識の共有、理解を深める時間があるといいと思う
- 休職者へのコンタクト、メンタルケア
- ママ会をしてもらえたことがほんとに勉強だったのでちょっとしたプライベートのプチ情報の共有もあると嬉しいです。
- ダブルワークの方も多いと思うので確定申告のサポート、各種申請できる補助金や申請項目など(傷病手当、妊娠出産等)の自分で調べないとわからないことを会社で把握しているとサポートしやすく対応もしやすいと思います。



## いきがいDays News

2021年 12月号



発行元  
株式会社いきがいクリエーション  
コーディネーター遠藤  
080-8568-8751

### 折れない心を育てるいのちの授業

in 池原公民館

解決が難しい苦しみから学ぶこと～をサブタイトルにし、地域包括支援センター北部の生活支援コーディネーターが定期的に行っている、サポーター養成講座の中で中部病院長野医師による「いのちの授業」を行いました。

- ・苦しみから支えに気づく
- ・苦しむ人を前にわたしにできること
- ・自分を認め大切にする

大きく3つに分け、レッスンごとにわかりやすくお話していただきました。




今回は、美里にある「いきがいラボ」での開催でした♡

### 第1回支え合いの輪を広げる大会

ELC主催で、リアル&Zoomたくさんの参加がありました。地域の事についてやりたいこと、できることを話したり時間が足りないうらいでした。また開催が決まればお知らせしていきますね。




たびたび申し訳ございません。

### ただいま「遠藤」が足りません

**聞き隊**

地域のいろいろな声を聞かせてください。



**伝え隊**

地域の方に情報を発信します。  
\*広報・啓発活動等



**創り隊**

困りごとを減らすためにあったらいいサービスを考えます。



**支え隊**

支援が必要な方のお手伝いをします。  
\*直接的な生活支援等





**話し愛隊**

地域の方とのふれあいの会話をたのしみます



地域のチカラ募集中です！！



# SDGsプロジェクト



- ✓ 20代で構成されたプロジェクト
- ✓ 将来のリーダーや経営者を育成

全スタッフへ会社lineで発信  
ランチミーティング  
各事業所にメンバー  
各事業所サポート



R4.3.30 発行 第13部  
“生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守るよう、責任ある行動をとろう”  
12 つくる責任 つかう責任

世界の食料支援量と日本の食品廃棄量

世界が途上国に援助している食べ物 <b>420万t</b>	日本がムダにしている食べ物 <b>612万t</b>
	約1.5倍!
	1日あたり大型トラック1,680台分

私たちが出すさまざまなゴミ。そのゴミを考えることでどれだけの人を助けることができるでしょう？  
ゴミの処理がきちんとなされ、資源が循環する社会では、資源が守られるだけでなく、人びとの雇用も生まれます。  
**「ゴミって何だろう？ もったいない！」**  
の精神でもう一度考え直してみよう。

今日のSDGs  
今日は「つくる責任、つかう責任」について

例えば、洋服について、、安くいものが手に入る時代ですが、作られても80%が埋め立て・焼却処分されているのが現状です

いきがいクリエーションでは、BigAdvanceの利用を開始しました。その中で、スタッフの皆さんの不要になったものを譲るための掲示板を作っています  
私は不要。でも、他の人には必要なものかもしれません  
ぜひ、皆さんも活用してみてください

**3Rで資源を生かそう！**

リデュース ゴミを減らす → リユース 繰り返し使う → リサイクル 再び資源として利用する

いきがいクリエーションでは各事業者ではもちろん捨てる前に必要な人はいないか、シェアして使えるものを最大限に利用するようにしています。  
皆さんも今一度働く場所や自宅での“これはどうしよう？”と思う物を考えてみましょう☆

いしがいいクリエーション

今回は⑬気候変動に具体的な対策を→



# プロジェクト

- SDGsプロジェクト
- 6丁目プロジェクト
- 企業内保育所プロジェクト
- 就労プロジェクト
- 認知症のひとにやさしいまちづくりプロジェクト
- 地域まるごとカフェプロジェクト
- 学校作業療法
- 団地の集会所活用について
- 美咲特別支援学校ゲスト



## 「障がい」を「生きがい」へ!

～ある右半身まひの方から教わったこと～



ぎのわん車椅子マラソン大会に参加

<障がいを治さないリハビリ>  
 目的に焦点を当てれば、別な方法でも自分らしさは取り戻せる。たとえ障がいがあったとしても、「やりたいことをする・自分らしく生きる」ことこそが、健康な状態だと思います。マラソン好きの高良さんが脳卒中で走れなくなりましたが、車椅子マラソンを知っていきがいを取り戻しました。その前向きな姿は、ご家族や周りの笑顔をも取り戻したのです。

たとえ障がいがあっても、自分らしい人生を歩むことができる社会

ドリームプランプレゼンテーション沖縄大会2013 検索

## 事例紹介

A氏 70代前半 女性 要介護3

音楽教師

夫と二人暮らし

地域の合唱団に参加(週1)

60代脳卒中

70代サービス付き高齢者住宅入居

デイサービス利用

## 地域合唱団の活動に参加したい

教員の頃に合唱と出会い、合唱の感動や喜びを知った。

倒れてから、何もできていないことに苛立っていたが、合唱なら出来るかもしれないと思った。

もう一度、あの感動と喜びを感じたい。

## 公民館での練習のアセスメント

- 階段昇降が必要
- 合唱団メンバーが介助方法などに不安を感じていた
- 住まいから公民館までの移動に支援が必要

## 地域の合唱団の練習に参加するために

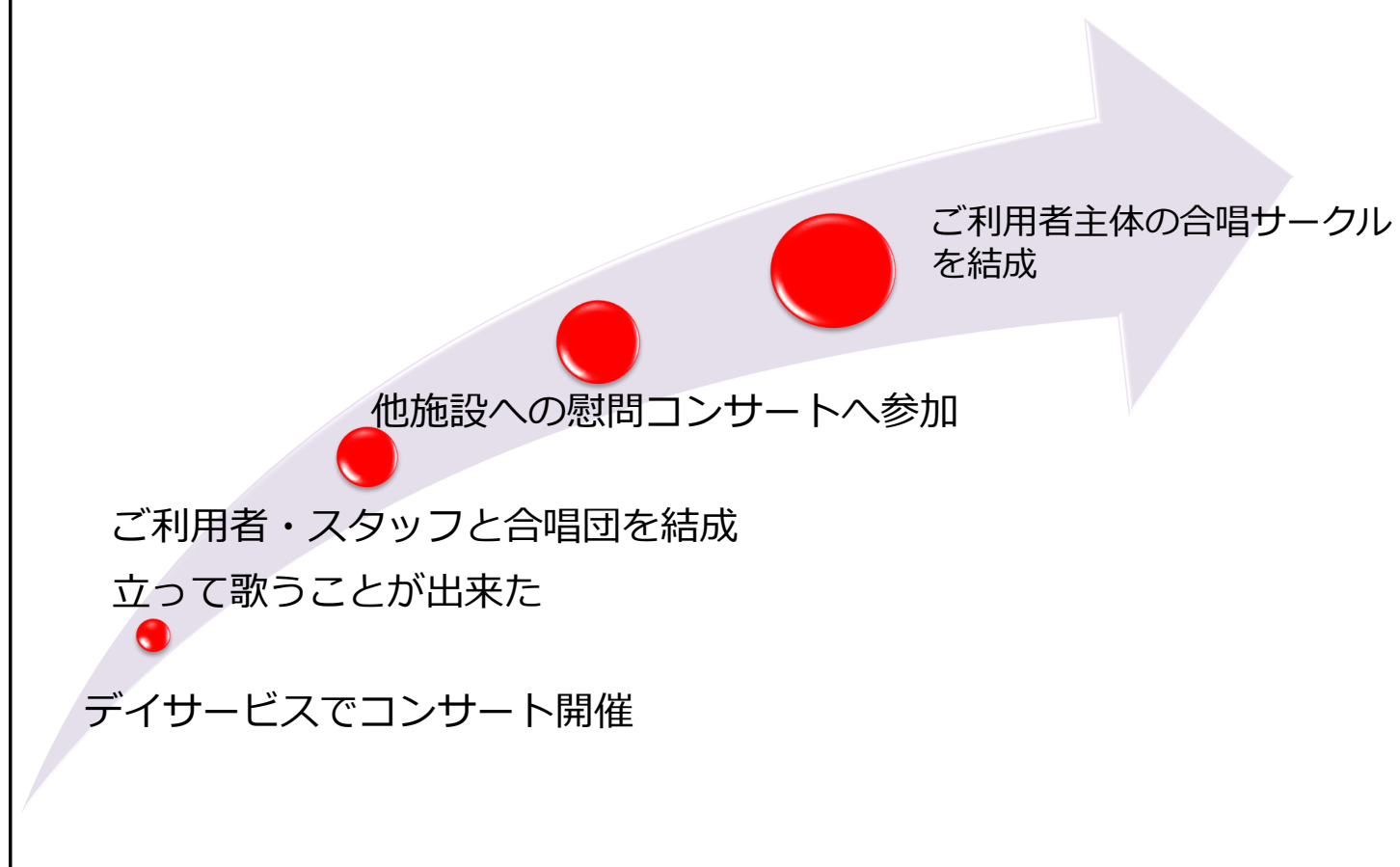
- 階段昇降の練習と介助方法の確認
- 合唱団メンバーへ介助方法を指導
- 家族、メンバーに送迎協力依頼
- デイサービスで合唱団のコンサートを企画
- コンサートに向けた合唱団の練習に参加

## 目標の設定

月に2回地域の合唱団の練習に参加する

実行度：3/10点 満足度：2/10点

## 経過



## 結果①

機能面は変化なし

生活能力は改善

介護度は要介護3から2へ改善

実行度、満足度ともに5点へ向上

## 結果②

みんなとそろって歌うことが出来て良かった

ずっと座って歌うと思っていたが

立って歌うことが出来て自信になった

これからもずっと音楽とのつながりを

持ち続けたい

## いきがいのまち

作詞 宮城 真弓

補作詞 三嶋 泉

作曲 井口 博之

1. いきが溢れるこのまちで  
鮮やかな花に囲まれて  
澄み渡る空の下 少年たちの声  
風にのって笑顔も広がってゆく  
我が家のように落ち着く場所  
幸せいっぱい胸いっぱい いきがいのまち
2. 変わりゆく日々の暮らしの中で  
人はみな人生を旅してきた  
大切な出逢いをいくつも重ね  
めぐり合いの中で生きてゆく  
手をつなぎみんなで歩いてゆこう  
幸せいっぱい胸いっぱい いきがいのまち
3. 気ままに流れる雲のように  
自由に自分らしく生きてゆく  
お互いに思いやり支え合う場所  
ありがとうが笑顔にかわるとき  
みんなで自分の花を咲かせよう  
幸せいっぱい胸いっぱい いきがいのまち

全国社歌コンテストへ

エントリー

私は、3年前に統合失調感情障害いわゆるうつ病の診断を受けました。

きっかけは、会社が傾いたことです。

私は、人に嫌われたくない、評価されなければならないという一心で、すべての仕事を引き受けていました。

その結果、会社にほとんどいなくなりました。

私は、そのことが会社にとってプラスになると考えていました。

そして、スタッフのみなさんとの距離が離れていったのでした。

会社が傾き、どうしようもなくなったとき、気づいたら私は命を絶とうとしていました。

それから私は、精神科閉鎖病棟へ入院しました。

退院後、家に引きこもる生活が約10か月続きました。

その間、会社は、別の取締役が任命した方を中心に運営することとなり、妻は胃潰瘍になりました。

最初はやさしかった妻でしたが、次第に「家事ぐらいやってよ」とイライラするようになりました。

そのたびに私は、「こんなにつらいのに責めないで」と思うのと同時に「どうやって死のうか」を考えていました。

復帰のきっかけは、運営の中心にいた方が退職したことでした。

その結果、部屋が空いたので、まずは行ってみました。そして、少しずつスタッフと会話しました。

一回入社すると次第に行けるようになってきました。

会社を経営する、家事をする、私の動く力になりました。

自分勝手な考えから、いつもみんなのことを想うことができるようになり、感謝して生きることを決めました。

なんだかんだで誰かのせいにしていました。

私が責任をもって経営するんだ、家族と幸せに暮らすんだ、と決めました。



# 障がいを生きがいへ

『 生きがい 』 について

- ✓ 生きがい
- ✓ 行きがい
- ✓ 逝きがい





## 人材育成や組織活性化における 3つの特長(その1)

### 対話を重ねるチームづくり

- 対話を大切にします。スタッフ同士の対話を重ねることで、みんなで支えあい、創っていく、働きがいと働きやすさを実感できるチームづくりを目指しています。



## 人材育成や組織活性化における 3つの特長(その2)

### 誰もが働きやすいチームづくり

- スタッフ一人一人の生活や家族を第一に考えることのできるチームづくりを意識しています。あるチームではスタッフから要望があり、リフレッシュ休暇制度を導入しました。



## 人材育成や組織活性化における 3つの特長(その3)

### SDGsと連動のチームづくり

- 今年度よりSDGs(持続可能な開発目標)の研修をスタートしました。様々なプロジェクトを発足し「持続可能ないきがいのまちづくり」に取り組みます。

## 田村の成長

- 家族、妻、子どもに感謝する
- スタッフに感謝する
- スタッフとたくさん話す
- スタッフと食事、飲みに行く
- 笑顔で話す
- 何とかなるだろうと考える
- 最悪の事態を想定して対策を考える
- 家で仕事をしない
- 家族の時間を大切にする

## 会社経営に対する考え方の変化

### これまで

- どうやったら売上を上げることができるか
- 会社のために仕事をする
- 評価制度で差をつける
- 管理者会議で各事業所を競わせる
- スタッフに対する文句
- スタッフを怒る
- スタッフと話すのが怖い
- スタッフと飲みに行けない

### 現在

- 数字はあくまで結果、いきがいを一緒につくるお手伝いをしよう
- ご利用者、スタッフのいきがいにつながるかで判断していいよ
- 自分と自分の家族のために仕事をしてくださいね
- 残業はしないでくださいね
- 組織図を撤廃します
- 上とか下とか、上司部下の関係はなく、みんな同じ
- 評価制度の撤廃
- 売上を発表しない
- 管理者ではなくリーダーと呼ぼう
- スタッフと話すのが楽しい
- スタッフと飲みに行きたい
- スタッフはめっちゃ話してくれる
- いつも感謝の気持ち

## これからの会社づくりとして

- 役員を増やそう 女性、若者割合が増えるように
- とにかく楽しい会社になりたい
- 各事業所が自律するサポートをしたい
- みんなで決める会社になりたい
- 地域社会のニーズに応え続けたい
- スタッフにますます幸せになってほしい

## バックオフィスについて

- 会社の理念、ビジョンを踏まえる
- 目的「各事業所が事業所の仕事に専念できる環境をつくる」ため
- いきがいクリエイションに組織図は存在せず全スタッフが対等な関係(上下関係、上司部下の関係は存在しない)、ティール組織を目指す
- バックオフィスが事業所、リーダー、スタッフを評価しない
- バックオフィスは本部ではなく、各事業所のサポートをする
- クライアント中心の視点

### 体制

労務→長嶺さん、赤崎さん、(町田社労士)  
 経理→笹村さん、寿乃さん、(富田税理士)  
 事業所サポート(行政対応、法令遵守、人材育成、SDGsプロジェクト、メンタルヘルス、研修など)  
 →知念さん、遠藤さん、田村、(門脇さん)  
 地域→遠藤さん  
 医療→親泊さん  
 BCP→宮平さん、遠藤さん、(門脇さん)

## 新型コロナ対策について

- 感染症対策室があり、すべてここで判断する
- 各リーダーは常に対策室へ相談する
- 濃厚接触者、子どもの学校の都合で休んでも給与を補償する
- 事業所を閉める、ご利用者の通所の自粛の判断を対策室がするので迷わない
- 結果として最小限に抑えることができる

## 働き方

- 自身の才能をいかす
- 事業所がいくつかあるので自分にあった働き方を選べる
- 短時間、日勤、夜勤、休日
- 定期的に面談
- 人員のフォロー
- キャリアステップ、資格取得支援
- 勉強会、zoom
- メンタルヘルス

## 離職率

- 8%
- 23% (2017年4月～2018年3月)
- 14.9% 介護労働安定センター
- 障害者雇用 5.59%

## 求人について

- もちろん、人材不足です。
- スタッフが友人を紹介してくれる
- 家族が入職する
- ハローワーク
- SNSや新聞記事を見て応募
- 求職者支援事業所
- 障がい者就労センター
- 自治会
- 実習の受け入れ(看護、リハビリ、介護、その他)
- 養成校と連携
- NPOと連携

## いきがいのまちづくり



誰もが

いきがいあふれる人生

(自分らしい人生)を

歩むことができる社会の実現


**株式会社 いきがいクリエーション**

<p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p> 	<p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p> 	
<p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに</p> 	<p><b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 	<p><b>10</b> 人や国の不平等をなくそう</p> 	<p><b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう</p> 


**株式会社 いきがいクリエーション**

<p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p> 	<p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p> 
<p>いきがい(生・行・逝)に焦点をあてたサポートによって自分らしい人生を歩むお手伝いをする ご利用者・ご家族、地域のみなさま、スタッフと一緒に</p>	<p>誰もが自分らしい人生を歩むことができるいきがいのまちづくりを実践する 様々な連携を通して地域づくりを学ぶ</p>	<p>スタッフひとりひとりの働きがいを高め、働きやすい環境を追求する沖縄県人材育成認証企業 みんなでつくる会社</p>



## 株式会社 いきがいクリエーション



全員参加の研修  
資格取得制度  
バックオフィスが各  
事業所・スタッフを  
サポート  
児童デイでは子ど  
もに合わせた教育  
を届ける



各事業所でできる  
ことに取り組む  
SDGsプロジェクト  
が各事業所をサ  
ポートする  
花いっぱい運動  
オムツを少なく  
手工芸の材料に  
リユース活動



障がい者、外国人  
高齢者の雇用を積  
極的にしている  
働き続けるために  
メンタルヘルスの  
サポートがある



地域との連携、  
自治会、行政、  
NPO、企業、教  
育など様々な連  
携によってプロ  
ジェクトを達成す  
る